ウチヱの歩行器
タスカルウォーカー ご使用のしおり

uchie
おもいやりをかたちに

品番： TW-110(Ⅱ型)
TW-120(Ⅲ型)

このたびは、弊社の『タスカルウォーカー(Ⅱ、Ⅲ型)』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・本書は必ず保管しておいてください。
・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。
・お買い上げの歩行器は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

Ⅱ型

Ⅲ型

仕様

材　　質	本体/アルミニウム合金、スチール、合成樹脂成形品 天板/ポリエチレン・ハンドル/天然木・レバー/ポリアミド		最大使用者体重	100kg
キャスター	TW-110(Ⅱ)	TW-120(Ⅲ)	天板耐熱温度	120℃
	前輪/ポリアミド、エラストマー・後輪/ポリアミド	前輪、後輪/ポリアミド、エラストマー		
重　　量	約 9 kg	約 9.6 kg		

サイズ

単位:cm

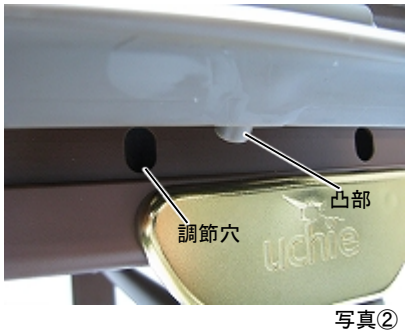
幅	57.5	ハンドル内寸	43.5
奥行	70(TW-110)、72(TW-120)	脚部内寸	46.5(TW-110)、45.5(TW-120)
高さ (2.5cm 刻み、8 段階)	77～94.5 74～91.5(ハンドル)	キャスター径	前輪/7.5、後輪/5 (TW-110) 前輪、後輪/7.5　(TW-120)
天板(幅 x 奥行)	51x45	脚部高さ	前輪/13.2、後輪/7.6 (TW-110) 前輪、後輪/13.2　(TW-120)
天板スライド調節幅	15.4(7.7cm 刻み、3 段階)		
ハンドル長さ	18.4		

天板スライド調節の仕方

・天板は 3 段階(7.7cm刻み)のスライド調節ができます。歩行器⇔テーブルのどちらの用途にも使用できます。

1.キャスターを 4 ヶ所固定し(P2 参照)、本体が動かないようにしてください。
2.両側のレバーを握って調節したい方向に天板を少しスライドし、レバーを離します。(写真①) レバーの凸部が調節穴から抜けていることを確認してください。(写真②)
3.天板のフチを握ってスライドさせるとレバーの凸部が調節穴に入り、天板が固定されます。使用する位置まで作業を繰り返してください。(3 段階、写真③)

写真①



写真②

写真③

⚠注意 **※スライド調節の際は、指を挟まないように注意してください。**
※スライド調節後、天板が固定され、動かない事を確認してください。

天板の取り外し

写真①

両側のレバーを握って天板を持ち上げると取り外しができます。(写真①)
天板を取り付ける際は両側のレバーを握って天板を取り付け、固定してください。

※本体を持ち上げる際は天板を取り外し、高さスライドパイプなどフレームを持ってください。

歩行器

歩行器として使用する際は、天板を一番前までスライドさせるか(写真①)、天板を取り外した状態で使用してください。(写真②)

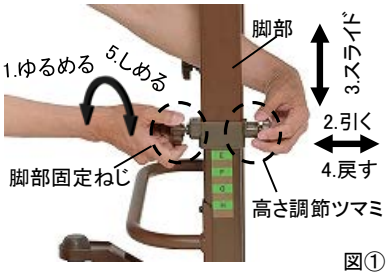
写真①　写真②

⚠注意
※上記以外の状態で歩行器として使用しないでください。
※ハンドル側に身体を入れ、ハンドルか歩行用グリップ(オプション)を握って使用してください。前後を逆にして使用しないでください。

高さ調節の仕方

天板の高さは、8 段階(2.5cm 刻み)の調節ができます。

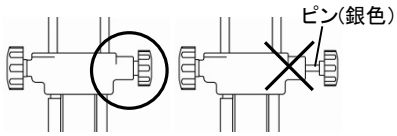
1.脚部固定ネジを取れない程度にゆるめてください。(図①)
2.高さ調節ツマミを引きながら脚部をスライドさせて側面のシール(A～H)を参考にお好みの高さに調節し、高さ調節ツマミを戻してください。
ピン(銀色)が固定孔に入れば調節終了です。(図②)
片脚ずつ交互に1段階ずつ調節するとスムーズに行えます。
③高さ調節を終えた後は、脚部固定ネジを締めてください。(図①)



図①

※強く締める必要はありません。

⚠注意
※高さ調節後は固定孔に高さ調節ツマミのピン(銀色)がしっかりと入っているか確認してください。
※必ず天板が水平になったことを確認してからご使用ください。



収まっている状態　図②

キャスターについて

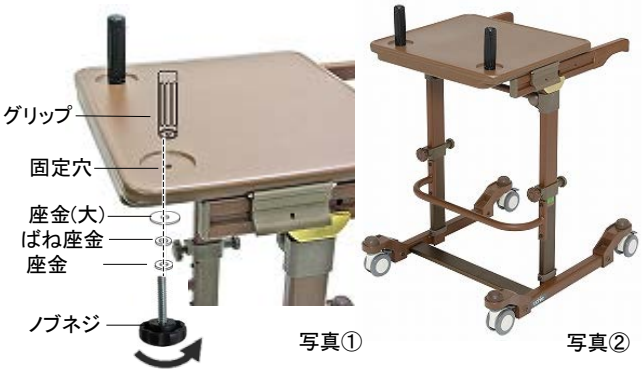
1.ロックレバーを下げると5cm キャスターは回転、7.5cm キャスターは回転と旋回がロック(固定)されます。
テーブルとして使用する際は必ず 4 輪ともロックをしてください。
2.ロックレバーを上げるとロックがフリー(解除)になり、移動することができます。本体を移動する際は必ず 4 輪ともフリーにしてください。

5cm キャスター　7.5cm キャスター

⚠注意
※Pタイルやフローリングなど、硬質で滑りやすい床面では注意して移動してください。
※テーブルとして使用する場合や移動時以外は、必ず4輪ともロックをかけてください。
※キャスターをロックした状態で、無理に動かさないでください。破損、故障するおそれがあります。
※ロックレバーを下げても車輪がロックしない場合はすぐに使用を中止し、キャスターを交換してください。
※キャスターにほこりや髪の毛などが巻き込まれている場合は、取り除いてください。

歩行用グリップの付け方 (オプション)

1 天板裏から座金(大)、ばね座金、座金(小)を通したノブネジをグリップ固定穴に差し込み、グリップの取付穴と合わせてください。(写真①)
2. ノブネジをしっかり締めてください。 反対側も同じように取り付けてください。(写真②) 使用する際は、天板を一番前までスライドして使用してください。



写真①　写真②

⚠注意
※グリップが固定されているか確認してください。
※ノブネジを締め過ぎないでください。天板が破損するおそれがあります。
※ハンドル側からグリップを握って使用してください。
※グリップを持ち上げるような使い方はしないでください。天板が不意に外れ、破損、けがをするおそれがあります。

材質	アルミニウム合金、PVC
グリップ径	φ32.8

お手入れの仕方

・汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布を絞って拭き、その後やわらかい布で乾拭きしてください。
・キャスターの動きをスムーズにするために、ほこりや髪の毛を取り除き、ミシン油を少量注油してください。
むやみに注油されますとほこりが付きやすくなり、汚れますので注意してください。

⚠注意

※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
※熱湯をかけないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

⚠安全上の注意事項

安全のため必ずお守りください

使用上のご注意

●本製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
●本製品を本来の目的以外で使用したり、お客様ご自身での改造や仕様変更が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
●後輪や脚部フレーム、ジョイントパイプの上に乗って使用しないでください。
●エスカレーターで使用しないでください。転倒するおそれがあります。
●段差のあるところや傾斜のあるところ、階段などでは使用しないでください。
●浴室内では使用しないでください。
●傾斜のある場所では駐車しないでください。ロックをかけても動く場合があります。
●本体を踏み台の代わりに使用しないでください。
●本体を真横や斜めから押さないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
●片側だけに無理な荷重をかけないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
●ご利用者がハンドルや歩行用グリップ、天板、本体を支えにしての立ち上がりはしないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
●車体が身体から離れた状態で使用しないでください。転倒するおそれがあります。
●歩行する際はハンドルか歩行用グリップを持って使用し、それ以外の箇所は持たないでください。
●ハンドルや歩行用グリップに重いものを引っ掛けないでください。転倒するおそれがあります。
●勢いよく押さないでください。転倒、けがをするおそれがあります。
●本体を壁や扉など物に当てないでください。本体や壁、扉などが破損、変形するおそれがあります。
●前輪や後輪が障害物に接触した状態で無理に押さないでください。転倒、破損するおそれがあります。
●本体を倒す、落とすなどの強い衝撃を加えないでください。破損、変形するおそれがあります。
●テーブルとして使用する場合や本体を固定したい場合は、必ず4輪ともストッパーをかけてください。
●キャスターを固定したまま押さないでください。破損、故障のおそれがあります。
●本体を持ち上げる際は天板を取り外してください。
●天板や歩行用グリップ、レバーを持ち上げたり、天板やレバーを下から突き上げたりしないでください。不意に天板が外れ、破損、けがをするおそれがあります。
●天板の高さ調節の際は、必ず左右同じ高さに調節し、天板が水平になったことを確認してから使用してください。
●天板の高さ調節後は、高さ調節ツマミが固定穴に収まり、脚部固定ねじが締まっているか確認してください。
●天板スライド調節時や天板交換時以外はレバーを上げないでください。また、レバーに衣服やひもなどがひっかからないように注意してください。不意に天板が外れ、破損、けがをするおそれがあります。
●天板の上に、鍋、やかんなどの加熱したものを直接載せないでください。変色、変形や破損するおそれがあります。(耐熱温度 120℃)
●使用する際は、次のことに注意してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
・必ず介助者が付き添い、歩行器が動かないようにしてください。
・ハンドルやグリップ、天板の片側だけに手をついたり、手すり代わりにして横方向に力をかけないでください。
●エレベーターで使用する場合は、すきまにキャスターが落ちないように注意してください。
●溝を越える際はキャスターがはまらないように注意してください。
●濡れている床面では、キャスターを固定しても本体が動く場合がありますので注意してください。
●P タイルやフローリングなど、硬質で滑りやすい床面で歩行器として使用する場合は、歩く際に特に注意してください。
●故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
・戸外
・直射日光のあたる場所
・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
・ストーブなど火気の近く
・高温多湿、低温な場所
・風通しの悪い場所
●ねじがゆるんだまま使用しないでください。本体が壊れ、けがをするおそれがあります。その場合は必ずご連絡ください。
●故障・異常のある際は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理をお申し付けください。
●1か月に一度は定期点検を実施してください。